

| 関係委員意見聴取書面 | |
|---|---|
| 関係委員 (敬称略) | (所属) 東北鳥類研究所 所長 ----- (氏名) 由井 正敏 |
| 聴取日 | 令和 2 年 11 月 11 日 (水) |
| 聴取者 | 環境省 大臣官房 環境影響審査室 佐藤審査官 |
| 要領 4 . (2) 利害関係者の除外 | |
| ・意見聴取しようとする事業に係る利害関係の有無。 <div style="text-align: right;">利害関係 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無</div> | |
| 要領 4 . (3) 秘密保持の承諾 | |
| ・環境影響評価法手続きに基づき作成される図書に含まれる希少な動植物種の生息・生育地の情報その他の秘匿すべき情報を外部にもらさない旨の承諾。 <div style="text-align: right;"><input checked="" type="checkbox"/> 承諾 ・ 非承諾</div> | |
| < 関係委員意見概要 > | |
| 鳥類への影響について | <ul style="list-style-type: none"> ・クマタカの衝突予測数は全体で 0.34 羽/年であり、供用期間を 20 年とすると 7 羽衝突する結果となっており重大な影響がある。 ・クマタカの行動圏解析に当たり、北西ペアの営巣中心域は主として尾根で区切っており、過大推定になっている可能性がある。一方、高利用域は西側が低い尾根で区切られており、全飛翔図から見て過小推定の可能性がある。 ・クマタカが風車の周囲や風車列より外側の部分を使わなくなり、好適餌狩場が減少する可能性がある。 ・事後調査ではクマタカの行動圏の変化や渡り鳥への影響についても確認する必要がある。 |